

岸和田市スポーツ推進審議会 会議録

日 時	令和元年8月8日（木）午後3時～午後4時15分
場 所	岸和田市総合体育館2階会議室
出席委員	室田委員長、宮本副委員長、大荷委員 齊喜委員、森田委員、藤浪委員、根田委員、金子委員、徳久委員、下代委員、酒井委員 以上11名
欠席委員	笠川委員、鍛冶谷委員、柿原委員 以上3名
会議の成立	委員の出席が過半数以上のため、「岸和田市スポーツ推進審議会規則」第5条第2項により会議が成立
出席者 事務局	教育委員会：樋口教育長、生涯学習部：藤原部長 スポーツ振興課：津田課長、藤原参事、田中主幹、杉本担当員
傍 聴 者	3名
次 第	- 委員委嘱式 - 委嘱状の交付 - 教育長挨拶 - 出席者の自己紹介 - 開会 - 案件 - 委員長・副委員長の選出について (委員長挨拶) - 令和元年度スポーツ振興事業予算について - 令和元年度スポーツ振興主要事業について - 令和元年度スポーツ振興事業補助金について - その他（報告事項） - 平成30年度社会体育の現状（実績報告） - KIX泉州国際マラソンについて - 聖火リレーについて - スポーツ推進計画の進捗状況について - 閉会
	資料1 令和元年度 スポーツ振興事業総括歳出予算 資料2 令和元年度 スポーツ振興主要事業一覧表 資料3 令和元年度 岸和田市スポーツ振興事業補助金 資料4 平成30年度 岸和田市の社会体育の現状

	資料5 岸和田市スポーツ推進計画（抜粋）
	資料6 岸和田市スポーツ推進計画の進捗状況
	資料7 委員名簿
	資料8 附属機関条例
	資料9 スポーツ推進審議会規則

1. 委員委嘱式 2. 教育長挨拶 3. 出席者の自己紹介 4. 開会

(1) 委員長、副委員長の選出について

立候補者または推薦者を確認する。

斉喜委員より、委員長に「室田委員」を、副委員長に「宮本委員」の推薦があり、両名にお願いすることで、委員全員の承認を得る。

(室田委員長挨拶)

事務局：当審議会規則第5条第1項により室田委員長に本会議の議長をお願いしたいと思います。室田委員長よろしくお願ひいたします。

委員長：案件2、令和元年度スポーツ振興事業予算について、案件3、令和元年度スポーツ振興主要事業について、事務局より説明願ひます。

事務局：資料1・2により「令和元年度スポーツ振興事業予算」「令和元年度スポーツ振興主要事業」を一括説明。

委員長：ただ今事務局から、案件2、案件3についての説明がありましたが、質問、ご意見等がございましたら、ご発言願ひます。

金子委員：資料1、今年度歳出予算の対前年度比74%とありますが、一番の大きな理由は指定管理制度に移行したことによる削減でこの金額になったということでしょうか。

事務局：先ほどの説明でも少し触れていましたが、指定管理制度移行による減額ということもあります。一番大きなことといえば、昨年の台風被害によって急遽補正予算を計上し予算が大きく膨らんだこととなります。見え方としては今年はかなり減っていますが、台風被害による修繕費が今年は要らなくなったということです。

金子委員：例年は、令和元年度と同じくらいの予算額ということでしょうか。

事務局：そのとおりです。

委員長：続いて、案件4の「令和元年度スポーツ振興事業補助金について」事務局より説明願ひます。

事務局：資料3により「令和元年度スポーツ振興事業補助金について」を説明。

委員長：これについて何かご意見ございますか。

斉喜委員：一部訂正をお願いします。NPO法人岸和田市体育協会の市民大会等の開催は26競技団体であります。継続不可能ということでトランポリン連盟が脱退しました。それと、スポーツ少年団のスポーツ少年大会の開催について、今年度空手もやるということ

6種目であります。

委員長：「スポーツ振興事業補助金」については、令和元年度もスポーツ振興事業を実施する団体（NPO法人岸和田市体育協会、岸和田市スポーツ推進委員協議会、岸和田市スポーツ少年団）に対し、「補助金」を交付することに異議ございませんか。

各委員：異議なし。

委員長：続いて、案件5「その他」について、事務局から報告事項等はございませんか。

事務局：平成30年度のスポーツ振興課事業実施報告をさせていただきます。

①平成30年度岸和田市の社会体育の現状、②KIX泉州国際マラソンについて、③東京2020オリンピック聖火リレーについて、④スポーツ推進計画の進捗状況について、をそれぞれ説明。

委員長：これについて何かご意見ございますか。

委員長：私のほうから、KIX泉州国際マラソンについて、ゴールがお城でハーフマラソンということで前回やりましたが、今回はコースを若干変え、コースが短くなることもありハーフマラソンにならないので、チャレンジマラソンということで、やはりお城のところをゴールにすることとなっています。私はマラソンの担当もしているので、またハーフになるように今後コース取りも考えていきたいと思います。

下代委員：たくさんスポーツイベントがあり趣味で見に行くこともありますが、ここ何年か水泳の市民大会が開催されていませんが、何か理由はあるのでしょうか。

事務局：市民大会は、体育協会に所属している各競技種目の連盟に委託して実施しています。水泳連盟は体育協会に所属していますが、近年スタッフが少なくなっているということで数年前から実施できなくなっている状況。今の会長は何とかやりたいと前向きな気持ちは示していただいておりますが、現実的にはできていないところです。

齊喜委員：体育協会の水泳連盟は、今年は必ず実施するとのこと。プールでも飛び込みのできる施設でなければ競技性がなくなるということで、飛び込みができる場所は水練学校等の関係でなかなか貸切ができません。今聞いているところでは、9月、10月、11月の間に屋内で実施する方向で、現在利用できる施設を探しているとの報告を受けています。

今年は必ずやるということでございます。会長にも確約してもらいました。

委員長：その通りでございます。

酒井委員：ワールドマスターズゲームズ（以下、「WMG」という。）、岸和田市での招致はBMXレースだと思いますが、非常に大きな開催だと思います。これについて、進捗状況の情報提供願います。

事務局：決定していることとして、マスターズの開催日が2021年5月14日から30日の17日間行われます。BMXにつきましては、5月22日土曜日、23日日曜日の2日に分けて開催する予定。現在競技連盟のほうには、競技要綱等の内容についてのチェックを受け一定これでオッケーとのことで、若干変更があるかもしれないが競技要綱は完成し

ています。今後東京オリンピック、パラリンピックもございますので、それまではガンカップであったり、岸和田のBMX競技場で実施される大会に併せてPR活動をメインにさせていただいて、オリンピックが終わった後、積極的にPRしていく予定です。直近の話で、あさって岸和田市の中央体育館でプロバスケットのエヴェッサさん（Bリーグとしてご協力）によりWMG関係でイベントを行っていただく予定です。中央体育館向かいの東光幼稚園の園庭をお借りし、BMXの体験会を行う予定。先日の岸和田花火大会の日にも、天候は悪かったですが体験会を実施したところで、今はBMX競技者を増やそう、裾野を増やそうという取り組みを実施しているところであります。WMGは30歳以上が対象となるが、BMXの競技者は25歳未満の方が大半を占めるので、できればマスターズの方にも積極的に参加いただけるよう、堺の大会等にも足を延ばしながらPR活動を実施しているところです。

酒井委員：WMGのレース自体、既存のコースで実施する予定なのですか。僕も娘が競技をしている関係で通っているから分かるのですが、あのコースで世界大会はどうかといったことを関係者からも耳にするのですが、その辺の進み具合をお聞きしたいです。

事務局：委員ご指摘の通り、国際基準を満たす施設ではありませんので、その基準を満たす施設にはしたいという思いは私どもも思っているところですが、現在の予定ではあの施設を改修して本番を迎えるということにはならないと思っております。

酒井委員：改修するということですか。

事務局：しないということです。

金子委員：特定のスポーツに所属していない子どもたちが参加できるようなイベントというのは何かありますか。

事務局：競技スポーツのカテゴリーにつきましては、ほとんど体協が主体となり市民体育大会を実施していただいております。それ以外のスポーツ、いわゆるファミリースポーツ体験会につきましては、スポーツ推進委員さんが市内を4つのブロックに分けて、それぞれの小、中学校の体育館、グラウンドを利用してその都度開いていただいているという状況です。

金子委員：大阪の子どもたちの体力測定ですが、最下位をさまよい44位から47位ぐらいでずっと低迷している状況なので、日々実施していない子どもたちをどういった環境に送り込んでいくかということが非常に重要だと思います。全国的な問題として、小学校5年生と、中学校2年生の女の子が体育の授業以外、運動をしない子がすごく多いということを聞いています。今の女子の環境をどう作るのかということと、小学校の時にいろんな経験をさせておかないと、中学校に入った時にクラブ活動に入れない。運動をしていないので、いきなりバスケットボールに入るとかバレーボールに入るといった環境ができない状況にあるという意味では、小学校の段階で岸和田市として、いろんなスポーツを体験する機会を作ってあげないとスポーツの裾野が広がらない。以前トータルスポーツのディアマンテさんを見学させていただいたのですが、子どもたちが

40人ぐらい、女の子が大半だったと思いますが、非常に楽しくやっていました。地域で、特定に何かをするという形ではなくて、スポーツの環境を作っていくというのが重要ではないかと思います。ずっと1位を突っ走っている福井県では、業間、いわゆる授業と授業の間にいろんな運動を取り入れている。朝来たら、みんなでリレーをしたり、2限目が終わると3限目までに30分ぐらいの時間があり、そこで縄跳び、ボール遊びなどをし、毎日体育をする環境があるということです。大阪の校長先生にいろいろ聞いてみると、大阪はそういったところが苦手な部分でできていないということでありました。そうなったときに地域の中でどのように環境を作っていくかということが重要になるのでは。低迷している大阪の中で岸和田だけはそうじゃないという数値を上げていくために、何ができるかというところを考えていけばいいのかなと思います。特に全国的に言えることは、子どもが参加しない、加盟しないという傾向が強い、母親が自分が役割をしたくないというところから加盟しないということで、子どもからスポーツの環境を奪っているということがあったりする中で、ここにいる皆さんのスポーツ環境の中でこういった形でスポーツの環境を作ることができるかということを考えていけばいいのかなと思います。

齊喜委員：学校体育施設開放事業ということで、資料2のほうで7,700千円という金額、小学校24、中学校11ということで、学校体育施設開放運営協議会に委託しているということです。私どもスポーツ少年団の団体で今31団体が小学校の体育館などで主に活動をしています。3歳児から募集しようということで上は中学校3年生までで団員として登録してもらって活動しています。開放運営協議会があるんですけども、その予算は年間、屋内20万円、グラウンド使用で3万円という金額で23万円が各学校に予算が下りてきております。その金額に関して、以前教育委員会に聞いたんですが、われわれ土日や平日も含め夜間に活動する訳ですが、扇風機をその予算の中で購入することができないかと聞いたらできませんということでした。近年この暑さの中で、貝塚市の施設を使ったりもしているが貝塚市は設置しています。岸和田市の中央体育館も工業用扇風機を3台設置している。ぜひとも学校の体育館にも設置していただきたい。教室は空調関係設置されていますが体育館はまだなので。開放していただくのはありがたい、予算までいただいています。ただ予算は一切各競技団体では使えず、学校の事務費で使って下さいということでした。内容を聞いたら、プランター、石灰、グラウンドの土を購入などでした。それに関しては一切意見はないのですが、ただその中で工業用の扇風機ぐらいは岸和田市で設置いただければありがたいなあという意見です。洋式のトイレ、体育館にある障害者用のトイレを開放していただいて洋式として利用できるようになって、子ども達は近くのコンビニやスーパーや自宅のトイレまで行くということが解消され、子ども達も喜んでいるところです。それと暑さ対策ですが、活動の前に保護者と競技、アジャタ、玉入れなどもしますが、暑すぎて出来ないような状況です。夕方6時から8時30分まで活動しています。扇風機、もしいけましたら

小学校にも運営委員会からもらっている予算で購入できたらと思います。

事務局：昨年、今年とかなりの猛暑ですが、体協会長等から要望を受けたこともあり、昨年春木、中央体育館に工業用扇風機を急遽置かせていただいて、その後春木が台風の影響で解体となったので、現在中央体育館に２台あると思います。学校開放の部分につきましても、運営委のほうに補助金をお渡しさせていただいているのですが、扇風機を買ってはだめということではなく、それぞれの学校で優先順位を決めていただいてその運営費をお使いいただくということで、学校さんにお任せしている状況です。そういったご要望をいただいているということは私のほうから学校には伝えます。

斉喜委員：管理の方はきちんとします。

下代委員：参考までに、私、医療機関に勤めていますので、熱中症の対策に取り組んでいまして、総務省の救急搬送の割合を見ますと、屋内、屋外で比べたときそんなに変わらないようにして、４月２９日から８月４日の大阪府の熱中症の救急搬送で２４０９人、内２６０人は屋内、屋外は２４９人、教育機関は１８２人ということで、屋内の発症が多いということでした。冷暖房、水分補給、体調管理等いろんな要素があると思いますが、そういった面からもスポーツの環境を見ていただければと思います。

金子委員：私はこのスポーツ推進計画の策定に携わりましたが、市民の週１回以上のスポーツ実施割合３２．５％は、成人対象ということでよろしかったですか。

事務局：市のほうで毎年、市民意識調査というアンケートを実施しています。確か上は７５歳ぐらいまでだったと思います。

金子委員：現状の３２％は全国平均の５５％に比べ明らかに実施率が低いということが問題点としてあります。岸和田市民がどんな運動をしているかということを見たときに、全世代がウォーキングと体操とジョギング、マラソンが上位を占めていました。歩のスポーツとして、道の整備をしていかなくてはということで、いわゆるウォーキングロードを造って、簡単な腹筋が出来るものや、背中を伸ばす機材を置いたりだとか道が安全で楽しみながら動ける状況が出来ると、さらに実施率が上がるのではないのでしょうか。お金がかからないスポーツなのでこの辺の整備から進めると高齢者の健康にもプラスに働かせることが出来るかと思います。

徳久委員：金子先生が言われていましたように、子どものスポーツ、環境的に言うと主要な因子は施設の側にあるのか、使用者の側にあるのか環境的なものにあるのかという、どこにも因子が存在している。それを我々が考えていくのか、もっと身近なところを考えるのか。たとえばそれこそ指導者の資質によるのか、というような観点をどこにおくのが非常に重要となってきます。皆さんの意見には肯定ですが、大きすぎるとなかなか手をつけられないとなる。では本市の場合どこに注意をすればよいのか、ということから入るのも一つかなと思います。高齢者に関して、金子先生はお金のかからないスポーツという表現をされていましたが、それは非常に大事なことでと思いますし、高齢者にとってその意識付けが必要。運動しなさいしなさいといっても、な

ぜそれが必要なのかということをもまず理解していただかないと次動かない。例えば、年に1度人間ドッグを受診するんですけど、その場しのぎはよくないが、そういう意識があると、2ヶ月前は10kg増、今は10kg減である。目的があれば、高齢者に関しては健康増進を付ければその意識、心が動くであろう。教育に関わっている方々もたくさんいらっしゃいますが、やれやれじゃなくいかにそういう自発的なところを出せるか、これは一番難しいところです。その端的な例としては、何が必要なことかという目標を明確にすると結構動けると思います。いつか出来たらこうなりたいとか、いつか出来たらというのはまず出来ません。期間がなければ出来ません。ですからその辺のところから入るのが面白いのかなと思います。

藤浪委員：金子先生からもお話があったんですけど、うちのクラブは小学生が主に活動をしているんですけども、一つの種目にこだわるのではなく、4、5年前まで10年間ぐらい5つの小学校で夕方5時から6時まで、トータルスポーツのような活動をしていたこともあるんです。その時に、何をしたいのか分からない子どもたちがたくさん来て、運動が苦手で、体育が嫌いな子どもたちもたくさん来て、そこで学校体育のようなことを楽しみながらやろうということで、跳び箱をしたり、リズム体操をしたり縄跳びをしたりすごくニーズがあったんです。200人ぐらいは常に参加していたんですけども、ぼしょってしまった理由は指導者がいなくなったんです。5時から6時までに指導をもらえる先生が見つからなくて。当時やれてたのは、ちょうどその時間は空いてるよ、陸上などをしてスポーツの知識もあってという方がいらっしゃったんで、それが成り立っていたんですけども、学生さんというのもありなのですが、やはり大人の管理の中でやりたいということで、うちのクラブでもそれはずっとやりたいと思っているんですが指導者が見つからないということで、この場所も5時から6時まで結構空いている時間なのでその辺りが歯がゆい部分なので、皆様にご協力いただければ、いい情報があれば宜しく願います。

委員長：いろいろと貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

事務局：皆様の委員としての任期は2年間となっておりますので、スポーツや健康増進に関するご意見など、随時事務局までご連絡ください。必要に応じて、皆様方の意見聴取を行い、本市のスポーツ行政の充実に努めてまいりますので、よろしくお願いします。本日の会議録は条例による公開をします。委員長、副委員長に確認の上、ホームページ等で公開いたします。